# 現代中国女性史年表追補 12（2016.9～2017.12）

遠山日出也

「･」は日付を特定できない事項。人名は、本人がその際に公表した名前か、報道された名前を優先。

2016 9 月 17 広州の女子大学生･西西ら、同性愛を「異常」「障害」と記している大学教科書の問題などを扱った展覧会「命名：誰が同性愛を書き、定義しているのか」を、前日に華南師範大学に中止させられたため、観客なき空き教室で開催。20 高暁が女性であることを理由にコック見習いに採用を拒否されたことを訴えた裁判で、広州市中級法院、被告の広東恵食佳経済発展有限公司らに慰謝料 2000 元に加え書面での謝罪も命じ、訴訟費用も全額被告負担とする判決。21 中共中央弁公庁「全国婦連改革方案」。29 広東省人口と計画生育条例：産休最長で 208 日に。30 中山大学の女子学生･秋白が教育部にホモフォビア的な大学教科書を通報したのに回答がなく、行政再議(行政不服申請)によって職責の履行を求めても受理されなかったことを訴えた裁判で、北京市中級法院、秋白敗訴の判決：「原告の請求は被告の職責との間に法律上の利害関係を有しない」、なぜなら原告は「特定の利害関係者」ではなく、「原告が主張する大学生及び同性愛者の一員として持つ権利」は「被告に職責の履行を請求する権利の根拠にはなりえない」。10 月 12 上海教育出版社、初の男子小学生向け性別教材として『小小男子漢』出版：2017.9.26 には女子小学生向けに『花様女孩』も出版、フェミニストは批判。22 同語、「セクシュアル／ジェンダーマイノリティ学生の学校環境調査報告」(完全版)発表。22 上海師範大学に中国「慰安婦」歴史博物館開館：中韓の少女 2 人をモデルにした「平和の少女像」落成式も。24 (日)少女像に対して菅義偉官房長官「日中関係の改善に資するとは言えず、極めて残念だ」。11 月 1-6 北京フランス文化センターで第 2 回北京愛酷児電影周(Love Queer Cinema Week)：北京酷児影展の新しい別名称。初回は 2015.10.17～。8 (米)トランプ、大統領に当選(2017.1.20 就任)。9 単身女性生育権関注組(レインボー弁護士団、女性メディアモニターネットワーク/女権の声、性別平等ネット)「中国『単身』女性生育権の現状および政策法律調査報告」。10 山東省済寧市の出嫁女の住宅分配を求める訴えに対し、済寧市中級法院、済寧市政府の「弁法」と山東省政府の行政再議決定書の取消し命じる原告勝訴判決(2017.1.6 報道)。25 国家衛生と計画生育委員会「母子施設の建設推進を加速することに関する指導意見」：駅など公共の場に妊娠・授乳期の母子のための施設設置。12 月 1 住宅・都市農村建設部「都市公共トイレ設計基準」施行：女と男の便器の比率は 3：2 以上、人の流れが集中する地区は 2：1 以上。1 女性抗エイズネットワーク-中国「中国女性エイズウィルス感染者 DV 被害調査研究報告」。9 (台)台湾性別平等教育協会など 10 団体、保守的宗教団体の性別平等教育への攻撃を批判、推進求める訴え。10 (台)婦女救援基金会による「阿嬤(アマ)の家―平和と女性人権館」正式開館。12 第 1 回全国文明家庭表彰大会：習近平が講話。18 トランスジェンダー男性(FtM)の C が「男装は会社のイメージに合わない」と言われ貴陽慈銘健康診断センター有限公司から解雇されたことを訴えた裁判で、貴陽市雲岩区法院、C 勝訴判決：賃金 438 元のほか、賠償金 1500 元の支払い命じる。但しトランスジェンダー差別とは認定せず。・この年頃から、婚姻法司法解釈(二)24 条(債権者が婚姻関係継続中の夫婦の一方の個人名義による債務の権利を主張した場合、夫婦の共同債務として処理する)により、債務を負わされた女性の訴え顕在化

2017 1 月 11 国務院「障害予防と障害リハビリ条例」(7.1 施行)。17 北京外国語大学副教授・喬木、大学院入試に関して、女性は「一に胸を見、二に顔を見る」と微博で述べ、批判浴びる。2 月 3『人民日報』の記事が代理出産について論じ、議論に。8 国家衛生計生委宣伝局局長･毛群安、代理出産は違法なので取締まりを続けると表明。20 微博アカウント「女権の声」、国家の法律法規に違反したとして 30 日間発信停止に：その際削除されたのは、米国で反トランプデモの際にフェミニストが国際女性デーにストライキを呼びかけたという 14 日付発信。27 日、新浪微博は「フェミニズム闘争に関する内容」が原因と述べる。21 微博アカウント「還女生平等」削除。24 楽視ネット、大画面映画の「十不准」に「誤った恋愛観・愛情観のプロット。たとえば同性愛、婚外の恋愛など」:その後「たとえば同性愛、婚外の恋愛など」削除。28 最高人民法院「『婚姻法』適用の若干の問題に関する解釈(二)の補充規定」：24 条について、虚構の債務、違法な活動による

債務は保護されないとする。28～ 北京師範大学児童性教育課題組『珍愛生命――小学生性健康教育読本』(2014)の生殖器の図に杭州蕭山高橋小学の母親が抗議、3.5 同校は回収：ネットで議論になり、同書が異なる性的指向の平等やジェンダー平等を詳説している点にも注目。3 月 1 中国社会福利基金会愛小丫基金、「中国農村留守女児生存発展報告(2016)」発表し(2015.11 に「中国中西部農村留守女児生存発展報告(2015)」発表)、他の機構と共同で「関愛女児連盟」結成。2 秋白、北京高級法院でも敗訴。3 孫文麟と胡明亮(同性との婚姻登記を拒否されたことを訴えた訴訟の原告とパートナー)、婚姻法を改正して同性婚を法制化する署名開始。8 微博アカウント「女権の声」、藍Ｖ認証(メディア向け)を取り消される。8 広州ジェンダー教育センター(韋婷婷ら)「中国大学生セクハラ状況調査」発表。15 全人代、民法総則制定(10.1 施行)。21 秋白たち、大学の教材の中の同性愛に関する記述の是正求め出版社と編者に手紙・メールの送付開始：7 月までに 47 冊のうち 20 冊が誤りを認め、訂正すると返信。22 浙江省温州市に初の「女児保護工作専業委員会」。29 武嶸嶸、香港大学修士課程入学のために香港・マカオ通行証と新しいパスポートを山西省交城県公安局に申請：交付されず、その後武は各方面に対して訴え、行政再議、情報公開申請などをし、5.4 付公安局の文書に「武は法律に違反したため、10 年出境できない」と記されるなどの紆余曲折の末、9.23 に香港・マカオ通行証獲得。4 月 1 (日)東京で第 1 回日本軍「慰安婦」博物館会議：7 カ国の 11 の博物館と運動団体が参加。5 南方日報記者が職権を利用して実習生を強姦した事件(2016.6)に関し、広州市越秀区検察院、同記者を不起訴に。13 女性外出安全関注組「中国女性安全外出報告」発表。5 月 1～17 **張累累らの呼びかけで、全国各地の街頭、大学、電車、バス、駅で合計 100 人以上の若い女性らが、地下鉄への掲示を断れられた痴漢反対ポスターを、一人ひとりが掲示板になって身につけてアピールする活動。**17 警察が張累累に圧力をかけて運動を中止させ、張と肖美麗に広州からの引越し命じる。20 上海人民公園で「同性愛者の家族と友人の会」の母親 11 名が子どものために虹色の傘を持って結婚相手を募集する活動：半時間ほどで警官が制止。20–21 同城青少年資源センター、クィアフォーラム、杭州の The Oopen で「命名：誰が同志を書き、定義しているのか」展覧会。24 **(台)司法院大法官、同性カップルの婚姻を認めない現行民法を違憲とする解釈を布告、2 年以内に法的措置を取るよう政府に命じる。**28 Speak Out(LGBT の公衆講演会、2014 年～)の 2017 西安大会、無期限延期(のち中止)宣言を余儀なくされる。6 月 8 国家衛生計生委など、6 月～10 月末に全国で人類補助生殖技術の違法な応用に対する取締り実施を通知。8 広州新メディア女性ネットワーク、微博で女性専用車両についてアンケート：9 日までに回答した 3000 人以上の女性の 8 割以上がフェミニズム的見地などから不支持。14 上海地下鉄に看看新聞(上海テレビラジオ局傘下)が反痴漢広告を掲示。16 山東省済南市の大学生・夏南、同市歴城区人力資源・社会保障局が山東福聘自動車貿易有限公司の「優秀な男性優先」という求人について「性差別ではない」と述べ処罰しなかったことを同市歴城区法院に訴える。26 深圳地下鉄が「女性優先車両」導入。26 余全虎(ゲイ)が家族に河南省の駐馬店市精神病院に入れられ、同病院が余を強制的に「治療」したことを訴えた裁判で、河南省駐馬店城区法院、同病院に対して、原告に慰謝料 5000 元を支払い、また判決の効力が生じてから 10 日以内に原告に公開で謝罪し、謝罪文は法院が審査した後、市レベルの刊行物に掲載することを命じる判決：精神衛生法の「入院治療は、自由意思の原則を実行する」規定から見て、「被告が原告を強制的に治療したことは、原告の人身の自由を侵犯した」とする。病院は控訴したが撤回し 8.28 判決確定。27 郭晶・鄭楚然・熊仔の広州の家に対し警官ら、消防検査を口実に家宅捜索。28 広州地下鉄が「『女性を思いやり、女性を尊重しよう』という文明的理念」の下、「女性車両」導入。30 中国インターネット視聴番組サービス協会、「インターネット視聴番組内容審査通則」公布：「同性愛」を「不正常な性関係・性行為」の一つとして放映禁止。・この月頃から、婚姻法司法解釈(二)24 条の被害者が各省の高級法院などに集団で陳情・抗議し、当局と衝突も。7 月 1 (台)女書店(1994.4.17～)閉店：出版事業などは継続。6 西西、ホモフォビア的記述のある教科書を改めない暨南大学出版社を相手取り、製品の質の問題により消費者に損害を与えたとして江蘇省宿遷市宿豫区法院に訴える(17 受理)。7 世界華人保釣連盟、在香港日本国総領事館前の公道上に「慰安婦」少女像設置(～12.13)。

10 深圳経済特区ジェンダー平等促進条例(2013.1 施行)に規定されたジェンダー平等促進機構、婦女児童工作委員会に看板を付け加える形で設立。13 周月、深圳市人社局が、興百業公司が周の通報した「男性のみ」求人だけを改めて他の求人では性差別をしているのに、それを放置したことを職責失当として深圳市塩田区法院に訴え。13 劉暁波、肝臓癌のため死去：フェミニストも追悼の意を発信。17 北京のバス内で痴漢被害者が痴漢を平手打ちし、刃物で重傷を負わされる。18 Speak Out キュレーターの馬修、Speak Out 2017 成都大会の当局の圧力による中止および Speak Out 講演大会の無期限停止を公告。18、21 北京市千千弁護士事務所、「職場セクハラ調査報告」発表。26 貴陽市雲岩区法院、C が 2 月に起こした一般人格権訴訟について、貴陽慈銘健康診断センターは C の平等な就業権を侵犯したと認定し、慰謝料 2000 元の支払い命じる判決。書面による謝罪は認めず。27 『中国婦女報』の微博・微信、「剰女」「××嫖」「直男癌」などの語彙は性差別なので用いないと述べる。30 フィリピン労働雇用省の報告、中国がフィリピン人家政婦を 5 大都市で雇う検討をしていると記す。**8 月** 1 北京地下鉄に北京市婦連が反痴漢広告を掲示(～14)。9 UN WOMEN、北京為平婦女権益機構、女性抗エイズネットワーク-中国、「反 DV 法施行と弱者女性のニーズ：女性エイズウィルス感染者・障害者・性的少数者に焦点を当てて」シンポ開催。10 成都地下鉄が反痴漢広告掲示。12 中国の戦時性暴力被害訴訟原告の最後の生存者・黄有良、海南省で死去。14 中国の「慰安婦」生存者を描いたドキュメンタリー映画《二十二》(監督：郭柯)公開：ジェンダー視点の欠如に批判も。17 (港)香港高等法院、「雨傘運動」学生リーダー3 人に禁固 6～8 カ月の実刑判決。21 『中国婦女報』の微博・微信、「慰安婦」を性奴隷と改称すべきと説く高富強の評論を掲載：メディアで話題に。**9 月** 1 湖北省漢川法院、女子生徒に対する児童猥褻罪で懲役 7 年 6 カ月に処した小学教師に対し、刑期終了後 5 年以内は教育活動に従事することを禁止する判決：刑法第 9 次改正(2015.8.29 採択 11.1 施行)による職務犯罪の予防的措置導入後、初の従業禁止判決。12 上海市、新しい「公共トイレ計画・設計基準」発布：男女の便器比率を場所などによって変え、最高で 1：2.5 に。**10 月** 9 李昱函弁護士(女性、王宇の弁護士)から公安局に連行されたとの連絡：11.15 騒動挑発罪で逮捕。18～24 中国共産党第 19 回党大会：「習近平による新時代の中国の特色ある社会主義思想」が党規約に。1 中全会で孫春蘭が政治局委員に(再選)、劉延東は引退。23 浙江大学教授・馮鋼の「歴史は学術界が女性の地盤でないことを証明している」などの微博発言(2013.5)に対し、女子院生らが謝罪要求署名。30 ユネスコ、8 か国の市民団体が世界記憶遺産として推薦した「日本軍『慰安婦』の声」の登録の判断を見送る。**11 月** 1-5 フランス文化センターで 2017 年北京愛酷児電影周。2 中国のジェンダー・ギャップ指数、100 位に：2008 年の 57 位から低下続く。3 「074 職場女性法律ホットライン」開始。8 上海市婦連の下属単位の幼稚園「携程親子園」で児童虐待発覚。17 猪西西、セクハラ禁止マークの普及活動開始。18 緑色薔薇女工サービスセンターの丁当と林琳、女工芸術祭(2018.3)に向け、女工の声を伝え、対話をするために、上海～深圳の 5 省の工業地区を通るサイクリングに出発(～12.7)。18 北京市大興区で大火：その後外来工など低所得者層追い出し始まる。20 女性記者・黄雪琴、#Me Too に触発されて自らや周囲のセクハラ被害を語り、女性記者セクハラ状況調査をネットで開始。20 北京 LGBT センターなど「2017 中国トランスジェンダー生存状況調査研究報告」発表。22 北京紅黄藍幼稚園で性暴力疑惑を含む児童虐待明るみに。30 為平婦女権益機構「『中華人民共和国反 DV 法』実施監測報告」発表。・この月、郭晶・鄭楚然・熊仔、警察の圧力で広州から引越しを強要される。**12 月** 2～9 新メディア女性ネットワーク、子どもに対する性暴力を扱った中国映画《嘉年華》(天使は白をまとう)(監督:文晏)(11.25 金馬奨の最優秀監督賞受賞)の上映会を 10 都市で挙行。11 南沙諸島守備部隊に初の女性兵士 10 人着任。11 (日)東京地裁で中国人女子留学生・江歌殺害事件(2016.11.3)被告・陳世峰(江のルームメイトの女性の元恋人)の裁判開始：20 日懲役 20 年の判決。中国で議論盛ん、フェミニストは DV や女子留学生の状況として論じる。18～20 南昌大学国学研究院副院長・周斌に性暴力を受けてきた元院生と元学生、大学・警察・ネットに告発し、院長・程水金による事件揉み消しも批判。20 南昌大学、周・程を(副)院長から解任、周の教学研究業務停止。23 余追ら「広州の大学キャンパス求人性差別調査報告 2017」発表